



国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

2023年1月23日

国連世界観光機関 (UNWTO) 世界観光指標 (World Tourism Barometer) 2023年1月号について

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。
世界観光指標原文（英語）は、下記リンクにて抄録（無償）
及び全文（有償）をご覧いただけます。 <https://www.e-unwto.org/>

2023年、一部地域で観光はパンデミック前の水準に戻る見込み

2023年1月17日
マドリッド

2022年に予想を上回る力強い回復を遂げた国際観光客到着数は、今年には、ヨーロッパと中東においてパンデミック前の水準に戻る見込みである。一方で、観光客は厳しい経済情勢に反応し、より費用対効果を求め、自国に近い場所を旅行するようになると予想されている。

UNWTOによる2023年の前向きなシナリオによれば、今年の国際観光客到着数は、景気減速の程度、アジア・太平洋地域での旅行の回復の持続、ウクライナへのロシアの攻撃の展開などに依拠するが、パンデミック前の水準の80%から95%に達する可能性がある。

すべての地域において回復

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org

UNWTOの新しいデータによると、2022年の国際観光客到着数は9億人を超えた。これは2021年に記録された数の2倍であるが、依然としてパンデミック前の水準の63%である。世界の各地域において、国際観光客到着数は顕著に増加した。中東は、到着者がパンデミック前の水準の83%に達し、相対的に最も堅調な増加を示した。ヨーロッパは、2022年に5億8,500万人が到着し、パンデミック前の80%近くに達した。アフリカと米州は、いずれもパンデミック前の約65%の回復となったが、アジア・太平洋は23%にとどまった。これは、パンデミック関連の世界でも強力な規制が撤廃され始めたが数カ月前からという事情のためである。2023年初めのUNWTO世界観光指標では、地域別実績を分析し、すでに2019年の水準まで回復した一部の国・地域を含む、2022年のトップパーフォーマーに焦点を当てている。

UNWTOズラブ ポロリカシュヴィリ事務局長は、「新年を迎え、世界の観光はより明るい兆しを見せています。経済状況や引き続き地政学的な不確実性を含む様々な課題に直面しているものの、UNWTOは今年、観光セクターにとって好調な一年となることを予測しています。2023年は、経済的要因が、人々の旅行に影響を及ぼす可能性があります。UNWTOは、国内観光及び地域観光の需要が引き続き堅調に推移し、観光セクターの幅広い回復を牽引すると期待しています。」と述べた。

中国からの観光客の回復

UNWTOは、観光セクターが経済、公衆衛生、地政学的課題に直面しているにも関わらず2023年を通して回復が続くことを見込んでいる。2019年の世界最大のアウトバウンド市場である中国において、COVID-19関連の渡航制限が最近解除されたことは、アジア・太平洋及び世界の観光セクターの回復に向けた重要な一歩である。短期的には、中国からの旅行の再開は、特にアジアの国・地域に恩恵をもたらす可能性が高い。しかし、これは、航空券の入手可能性や費用、ビザ関連規制、目的地におけるCOVID-19関連の制限に左右される。1月中旬までに、主にアジアとヨーロッパの計32カ国が中国からの渡航制限を課した。

同時に、米ドル高に裏打ちされた米国からの強い旅行需要は、引き続き米州地域内外の国・地域に引き続き恩恵をもたらすと考えられている。ヨーロッパは

対米ドルでのユーロ安もあり、米国からの観光客数が引き続き堅調に推移するであろう。

ほとんどの国・地域で、国際観光収入の顕著な増加が記録されており、中には到着数の増加率を上回るものもある。これは、滞在期間の長期化による1旅行当たりの支出増加、旅行者の目的地での消費意欲の高まり、インフレによる旅費の上昇によるものである。しかし、2023年の経済状況に対応して観光客がより慎重な行動をとる、すなわち支出を削減し、旅行期間を短縮し、自国に近い場所に旅行するようになる可能性がある。

さらに、ロシアの対ウクライナ侵攻や他の地政学的緊張の高まりによる不確実性の継続や COVID-19 に関連する公衆衛生上の課題などが下振れリスクとなり、今後数カ月間の観光の回復に影響を及ぼす可能性がある。

直近の UNWTO 信頼度指数は、1月から4月にかけて2022年の同時期を上回り、慎重ながらも楽観的な見方を示している。この楽観的な見方は、アジアでの渡航制限の緩和と、2022年には従来及び新興の送客市場（ソースマーケット）からの支出が好調であったことに裏付けられている。前者はフランス、ドイツ、イタリア、後者はカタール、インド、サウジアラビアで、いずれも好調な結果を示した。

関連リンク:

UNWTO ツーリズム・リカバリー・トラッカー



UNWTO 世界観光指標 2023 年 1 月号



World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org

○UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」)とは

UNWTO 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年 6 回を目処に公表されます。国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所では、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関（UNWTO）について

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所は、UNWTO の地域事務所として、1995年に設立されました。同事務所ではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

●お問い合わせ先(UNWTO 本部; メディア専用窓口)

E-mail: comm@unwto.org

Tel: (+34) 91 567 8100

※メディアの方は本部へ直接、英語でお問合せください。

お問い合わせ方法につきご質問がある方は

UNWTO 駐日事務所までご連絡をください。

○一般のお問合せ先

国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所
(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)

担当：吉田

電話：0742-30-3880

E-mail: info@unwto-ap.org